



京都子育てネットワーク代表

藤本 明美さん

みらいっこインタビュー

子どもと一緒に親も成長していけるような子育て環境が理想です。

京都子育てネットワークを設立されたきっかけは？

まだ、勤めている時に子どもを出産したんですが、その時にすごく孤独感を感じたんです。その後、一人目の子どもを出産時に仕事を辞めたんですが、子育てについて話のできる仲間が欲しくて、九年前に子育てサークル「たんぼひろば」を作った。地域のお母さん達と一緒に、本当に試行錯誤の連続で運営していました。

このサークルが新聞で紹介されたところ、遠方からもたくさんお問い合わせがあり、多くの母親達がサークルや仲間達を求めていることがわかって、その時に、子育てサークルの情報とサークル間のネットワークの必要性を感じたんです。

そこで、新聞や雑誌などから子育てサークルの情報を一年かけて収集し、各サークルのリーダーにネットワークへの協力を求める手紙を出しました。すると、私と同じように感じているリーダーも多く十五のサークルに集まっていたので、六年前に設立までこぎつけたんです。

具体的にはどのような活動をされているのですか？

情報誌として、子どもの食生活や遊びなどの特集記事やイベント情報、会員の意見等を掲載した「京都子育てネットワーク通信」を二ヶ月に一回発行しています。その他、二年前には、子育てサークルや児童館の幼児クラブ、こども文庫、おもちゃライブラリー、幼稚園の子育てひろば、子育て支援ステーションなど、「親子が出会えて仲間になれる場」を紹介した冊子「京都子育てわくわく情報」を作成しました。

また、子育ての仲間づくりの場として、「親子フェスタ」などの親子向けイベントを開催したり、そういう場を企画している所へ出掛けて行って、お手伝いしたりしています。

その他には子育てサークルリーダーの研修会や子育て講演会などを開催しているほか、子育てサークルを作りたい方へのアドバイスも行っています。

今、子育て真っ最中のお母さん達で運営されているんですね。

はい。忙しくて大変ですが、生きるのに食べることが必要なように、子育てには「仲間」が必要なんです。

子育ては楽しいだけでなく、本当にしんどい事だと思えます。

お母さん達は、子育ての経験がないのに子どもを産んで育てていく。そしてそれが日常の生活となるわけですから…。ストレスがたまって、子どもを大きな声で叱ってしまったり…。そんな普段とは違う自分を見てしまったり。そして、未熟な自分を責めてしまったり。完全な自分になってから出産するはずがないのに…。

でも、子育ての仲間がいると、いろいろ話すことですごく癒されます。そして、「一年前は私もそうだった」とか、いろいろなアドバイスを聞いたりして、「だんだん自分も成長していくんだ」ということがわかってきたりするんです。

子育てサークルというのは、メンバー全員で参加、運営しながら、子どもはもちろん、母親も一緒に育ち、成長していく場なんです。

これからの目標を聞かせてください。

私が子育てサークルを作った頃と違って、最近は「子育て支援」の風が吹いてきました。核家族化、少子化などの対策として、行政もこどもみらい館や各区に子ども支援センターを作るなど子育て支援に力を入れていただけるようになり、サークルをしてきた方々の苦勞がようやく実ってくるのではと感じています。

でも、子育てをしているお母さんにとって、一番大事なのは身近な地域の人たちとの出会いだと思います。道端でちょっと声を掛けてもらっただけでも、すごく楽になることもある程です。

地域の中で、子育てを通じていろんな人と出会い、お互いを認め合いながら、子どもと一緒に親も成長していく…。そういう子育て環境が理想だと思います。そんな「子育てのしやすい地域づくり」の少しでも力になれるよう、これからもネットワークのメンバーと協力して活動していきたいと思っています。



京都子育てネットワーク

1997年設立。子育てサークルの所在を把握し、広めていくことを目的に幅広く活動を行っている。「きつすなぐ」、「やんちゃあず」、「あそぼっぼ」など、現在32の子育てサークルが加盟。会員数は約150名。

地域の子育てサポート

(私立幼稚園編)



京都市長

榊 康 頼 兼

京都に住み、子育てをして良かったと実感できる「子育て支援都市・京都」の実現を目指しています。

現在、京都市内の様々な施設で、地域の子育てをサポートする取組が行われています。その中の一つに、京都市と私立幼稚園協会が連携して実施している私立幼稚園の「地域子育て相談事業」があります。これは、在園児の保護者はもちろん、在園児以外の保護者に対しても、身近な子育て相談にに応じているもので、遊具や園庭の開放、絵本等の貸出を行う幼稚園もあるなど、子育てに役立ついろいろな取組を行っています。これらの事業は、「地域子育て相談実施幼稚園」の表示（右写真）のある私立幼稚園で実施していますので、子

育てにちょっと悩んだ時や子育て仲間が欲しい時など、どうぞ気軽に利用してください。

このほか、市立幼稚園や保育所（園）、児童館、区役所等でも、地域の子育てをサポートするための各種の取組を行っています。詳しくは各施設にお問い合わせください。

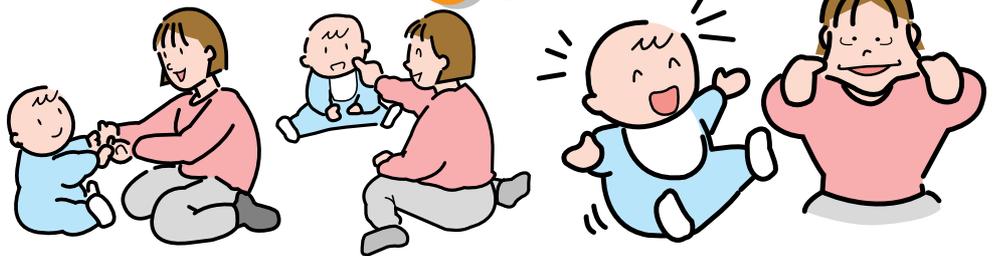


あかちゃんと・・・5か月から6か月ごろ

ふれあい遊びをしましょう

この頃になると、あかちゃんは身体の各部分を動かすことがさらに上手になり、力も強くなります。自分の周囲に対する関心も積極的になり、何でも見てやろう、さわってやろうという気持ちが芽生えてきます。

いろいろな顔をして
楽しみましょう



だるまさん にらめっこしましょ
だるまさん だるまさん にらめっこしましょ
わらうと まげよ（あかちゃんのほほをつつく）
あっぷっぷー（おもいっきりおもしろい顔をする）

ワンポイント アドバイス



春を迎え、子どもの進級や入学を目前にしている保護者の方々も多いことでしょう。

新しい生活への期待でウキウキ・ワクワク、でもチョッピリ不安が…。特にこの時期は、保護者の転勤や転居などと重なったりして、何かと落ち着かない時期でもあります。こんな時期は、日常生活をより丁寧に過ごしたいものです。

例えば、子どもに「そんなこともできなかつたら、組

になれないよ」

「おかあさん、おかあさんって言っていないで、自分でしないと幼稚園に入れないかも」などと言ってしまったことはないでしょうか。

子どもへの励ましの言葉がプレッシャーになってしまわないように、ゆったり構えて、新しい生活を子どもと一緒に楽しみに待つことができるように心がけましょう。

子育ての井戸端会議から

こどもみらい館で
毎週開催

双子の保護者の井戸端会議

散歩に行くと、一人は左へ一人は右へと反対に行ってしまう。右には自動車を通る大きな道、左には池がある。「どっちが危ないか」と、とっさに判断して、自動車に轢かれないように走って行って一人を抱え、池の方へ走ってもう一人をつかまえるという状態で大変。でも二人そろっているのがとても可愛い！

双子の保護者の井戸端会議は毎回盛況で、活気に満ちています。

「B子が甘えん坊で、ごてることが多くて手がかかったので、しっかりしているA子をおばあちゃんに預けることが多かった。ところが集団に入るようになって、甘えたで手がかかって頼りないB子がさつと集団に入り、しっかりしていると思っていたA子が泣いて親から離れられない。親との絆が太いほうが離れられないのかなと思いました。」「うちもそうでした。朝、着る服のことでごてごて言っていて、『もう好きにして！』と思う子の

ほうが、幼稚園に着いたらさつさと部屋に入っていくのです。」「親がやりやうと思う子は、いつも爪をかんているので爪がないんです。」

「でも、一人が甘えているときは片方はおとなしくて、膝が空いたなと思たらさつと次の子が甘えて来る。二人一緒に甘えて困る事はなかったように思います。」

「なるほど！二人が次々とうまく甘えて来るので、お母さんは大変だけど、しっかり甘える子どもは自立できるですね。」
子どもには、手をかけること、甘えさせることがどれだけ大切かがよく分かりました。



子どもといっしょに作ろう！ クッキング 簡単雛あられ

材 料

残りご飯を洗って乾燥させたもの	適量
サラダ油	少量
砂糖	大さじ4
色粉（食紅、抹茶などあれば）	少量

作り方

サラダ油で、乾燥させたご飯を揚げる。（すぐに浮き上がれば適温。くっつきやすいので少量ずつ揚げる。）

ご飯がふくらんだら網じゃくしですくい取り、ペーパータオルの上を広げる。

なべに砂糖と水大さじ1を煮立たせ（色をつける場合はこのとき色粉と一緒に混ぜる）、を入れ手早くからめる。（使ったなべはすぐにお湯を入れておくと砂糖がとれやすい。）皿などにあけて冷ませば、おいしいあられのできあがり。

残りご飯はよく洗ってぬめりを取り、金ザルなどに広げて2日ほど天日で乾燥させたものを使うと、よくふくらんだおいしいあられができますよ。



読んで見て! BOOK

このコーナーでは、子育て図書館から、子育てに役立ついろいろな本をご紹介します。

「た、たん」 かさい まり / 作・絵 (ひさかたチャイルド)



森にやさしい春が訪れました。恥ずかしがり屋のクマさんは、つぼみのないタンポポを見つけるのが上手です。つぼみのないタンポポからおいしいコーヒーを作ります。

でも、おいしいコーヒーを入れても一緒に飲む友だちがいません。コーヒーを飲みながらぼんやりと窓から空を眺めていると、ウサギさんがやって来ました。クマさんはウサギさんに声をかけようと思うのですが...

クマさんは勇気を出してウサギさんに声をかけました。でも、あまりに声が小さすぎて、気づいてもらえず、がっかり。その後、リスさんやキツネさんたちが代わる代わるやって来るたび、「今度こそは」と思うのですが、なかなかうまくいきません。

とても恥ずかしがり屋で、なかなか周りの仲間たちとうまく話ができないクマさん。体は大きいけれど、本当はとてもやさしい心の持ち主なのです。

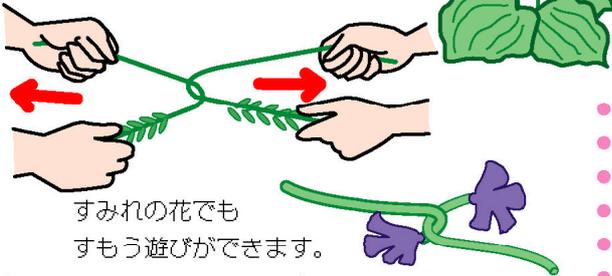
クマさんのやさしい気持ちは、みんなに伝わるのでしょうか？

戸外で親子であそびましょう！

身近な草花を使って、いろいろなあそびができるよ！

おおばこすもう

茎と茎を引っ掛けあって、引っ張ります。
切れてしまったら負けです。



すみれの花でも
すもう遊びができます。

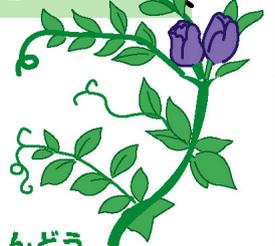
ナズナのガラガラ

実を指で持って、切れないように、
ゆっくりと少しずつ下にさいていく。
ふると音がするよ。だれのガラガラが
いちばんよくなるかな？



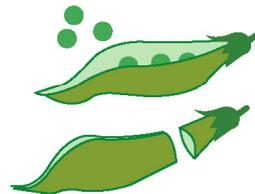
いろいろな笛

草や木の葉で、笛を作りましょう。
どんな音が出るでしょうか。



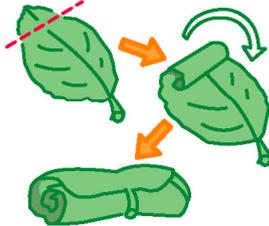
からすのえんどう

豆を出します。
へたのほうを少し切り、
反対側をくわえてふきます。



木の葉（まさき、なんてん、もち、かしなど）

わかい葉の先を切りと
り丸めて、ゆびでつぶ
してふきます。



子どもとっしょに みらいっこクイズ

どうわのなぞなぞ

Q1 もりの おばあさんの いえへ いって
おおかみに たべられたのは だあれ？



Q2 ヘンデル と グレーテルが
みつけた おいしそうな
いえは なあに？



応募方法

ハガキにクイズの答え・氏名・住所・
電話番号を明記の上、
3月31日（当日消印有効）までに

〒604-0883

京都市中京区間之町通竹屋町下る
京都市子育て支援総合センター
こどもみらい館「みらいっこクイズ」係宛

正解者の中から抽選で10名様に図書
券1,000円分を進呈します。

「こどもみらい館」や「みらいっこ」
に対するご意見・ご感想をお書き添え
のうえ、お申込みください。当選は発
送をもってかえさせていただきます。

前回（みらいっこ12号）のクイズの
答えは「クマ」「鳥」「リス」「うさ
ぎ」と「キツネ」でした。多数のご応
募ありがとうございました。



京都市子育て支援総合センター 〒604-0883 京都市中京区間之町通竹屋町下る
こどもみらい館 TEL 075-254-5001 FAX 075-212-9909
URL <http://www.kodomomirai.or.jp>

交通/地下鉄丸太町駅から徒歩3分 市バス烏丸丸太町下車徒歩3分
※駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

ひと・まち・ロマン  元気都市・京都

人権の話題作りは 家庭から

この冊子は再生紙を使用しています